

Kait e-letter

Vol. 3
No. 1
2017.7.12

Electrical and Electronic Engineering, Kanagawa Institute of Technology

平成29年度新入生インタビュー

今年も79名の学生が入学しました。入学後3か月がたち、今の気持ちをインタビューしたので紹介します。



塩川航平さん（1年，長野県，岩村田高校）。私が神奈川工科大学を選んだ理由は、とても雰囲気良かったからです。入学前は、友達ができるか不安でしたが、授業やサークルを通じて、友達できました。大学では、電気電子情報工学の専門的なことを多く学べるので、とても興味が湧き楽しく授業を受けています。しかし、課題も少なくなく、油断すると後々苦労すると思い気を付けています。大学で、多くの知識を身につけ、社会で役立つ仕事につけるよう頑張りたいです。

高山義史さん（1年，神奈川，川崎総合科学高校）。この大学を選んだ理由は、教員になるためです。そして、この学科を選んだのは、工業の教員資格を得るためです。入学前は、大学でどのようなことを学ぶのだろうと、不安や期待で一杯でした。今では、大学にも慣れ、そのおかげで大分余裕もでて、とても楽しい大学生活を送っています。特に、電気電子情報工学科では、入学前講座や縦コンなどのイベントもあるので、友達もスムーズにつくることができました。これからは、楽しむだけでなく、勉強にも励みたいと思います。



久邇之明さん（1年，神奈川，藤沢工科高校）。私は、「高校でお世話になった先生に、神奈川工科大学はかなりおススメ」と言われ、また兄も本学に在籍していたので、この大学に入学しました。入学前は、友達ができるか不安でしたが、問題ありませんでした。また、車で通学しており、通学時間に1時間ほどかかるので、少し大変です。しかし、受けた授業などもあるので、頑張っって通いたいと思っています。

武田貴希さん（1年，山形，山形電波工業高校）。大学入学前に、高校で学んだことを復習していなかったため、最初の一か月は1から学びなおすように勉強をし、とても大変でした。でも、私は寮で生活しているため、同じ学科の友達や、他学科の友達を多くでき、乗り越えることができました。一人暮らしをしていたらと思うと、ゾッとします。今現在は、クラスの友達とも仲良くなり、学生生活を送るモチベーションにつながっています。



渡邊雄樹さん（1年，神奈川，横浜緑園総合高校）。就職率も高く、少人数制の授業もあり、勉強に不安のあった私でも頑張れると思い、本学の電気電子情報工学科を選びました。勉強をサポートしてくれる「よろず質問室」があるのも、決め手になりました。大学ではいろいろな人がいて、全く話したことのない人と友達になったり、仲間で会話したりするのがとても楽しいです。でも、通学に時間がかかるのが、ちょっと大変です。

西田雅巳さん（1年，神奈川，上矢部高校）。入学前は、正直不安でしかありませんでした。私は、普通科高校の出身だったので、工業系の知識があまりなく、ちゃんと授業についていけるのかという不安がありました。また、周りに知らない人しかいない中で、友達ができるのかという不安がありました。しかし、今は、この二つの不安はほとんどなく、友達も多くでき、今の生活はとても楽しいです。



山田純也さん（1年，神奈川，厚木西高校）。この大学を選んだのは、地元で通いやすく施設が充実していると思ったからです。電気電子情報工学科を選んだのは、電気工学が多くの分野で必要とされており、就職に有利と考えたからです。入学前は、授業にきちんとついていけるのか不安でした。いまでも不安はありますが、なんとかやっています。勉強は大変ですが、友達がたくさんでき、とても楽しく生活しています。今は、自分自身をしっかり磨き、将来立派な社会人になるために必要な知識を蓄えたいと思っています。



神奈川工科大学
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

ホームページ：<http://www.kait-ele.jp> ダウンロードできるよ
発行：神奈川工科大学 工学部 電気電子情報工学科
カイトイーレター編集委員会



神奈川工科大学
電気電子情報工学科



@kait_ele2014

「縦コン」インタビュー

学部1年から大学院までが集まり楽しむ、本学科恒例の「縦コン」を今年も開催しました。幹事団の二人と、参加した一年生に感想を伺いました。



尾本彩果さん（4年，山口，新南陽高校）．私は入学当初、縦コンのことをよく知らずに先生から推薦されるかたちで幹事団に加わりしました。それまで企画運営といった経験があまりなく、見様見真似のかたちが多かったのですが、今年は最上級生となり、仕切る立場となりました。仕事を進めていくなかで、これまでの先輩方が時間を割き、とても工夫をして運営していたことを実感し、改めて企画の難しさを痛感しました。しかし、縦コン終了直後には、参加者から楽しかったという言葉もらい、大きなやりがいを感じることができました。

東竜次さん（4年，神奈川，厚木高校）．幹事団に入ったきっかけは、1年生の時に先生に勧められたことでした。昨年までは、先輩の指揮のもとで動いていましたが、4年目を迎え部長となって企画や買い出し品の予算などを考えました。予算を超えないために、お菓子や飲み物はチラシのセール品を購入しました。当日は、幹事団以外の学生も手伝ってくれ感謝しています。多くの方に参加していただき、楽しく無事終了することができました。来年の幹事団にも頑張りたいと思います。



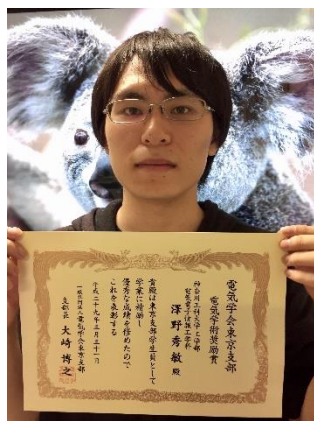
久保田航平さん（1年，長野，篠ノ井高校）．同学年だけでなく上級生とも関わると聞き「縦コン」に参加しました。席はランダムに決まり、自分の座ったテーブルには、1年生が自分を含めて3人、2年生と3年生が一人ずつで、計5名でした。先輩の方はもちろん、同学年の方ともほとんど関りがなかったのですが、先輩方が講義のことなどで話題を出してくれ、とても楽しく会話することができました。席がランダムだと、知らない学生と話すきっかけになるので、よかったなあと思いました。来年は、幹事団として参加したいと思っています。

中村皓生さん（1年，神奈川，神奈川工業高校）．私が「縦コン」に参加したのは、基本的に全員参加するものだと思っていたからです。また、純粋に興味があったということもあります。参加前は気まずい雰囲気なったりしないかと不安でしたが、実際に参加してみれば、先輩は優しく、気さくに声をかけてくれるほか、食事もおいしく、ビンゴやクイズなど飽きない内容で、とても満足できました。来年もぜひ参加したいと思っています。



電気学会東京支部から電気学術奨励賞受賞

平成29年3月に本学科の澤野秀敏さんが電気学会より電気学術奨励賞を受賞しました。受賞にあたり澤野さんは「1年間行ってきた自分の研究成果を学会で発表し、その成果が認められ賞を頂けたことをうれしく思います。大学院に進学してからも、多くの学会などで発表できるように、研究に取り組んでいきたいと思っています。」と今後の抱負を語っていました。



2016年度研究業績

2016年度の研究業績の概要は次のとおりです。電気電子情報工学科は、研究を国内外に広く発信し、学術・工学の発展に貢献しています。

<学外発表印刷論文>

英文：16件，和文：5件

<学外発表印刷物>

英文：1件，和文：3件

<学外口頭発表論文>

英文：26件，和文：25件

（以上，2015年10月1日～2016年9月31日の実績）

<競争的資金獲得件数>

共同研究：11件

文部科学省科学研究費助成事業

基盤研究B：3件

基盤研究C：2件，

私立大学戦略的研究基盤形成事業研究助成：1件

学内重点配分（研究）：5件

学生による最近の学会発表

（期間：2017.4.1～2017.6.30）

1. 稲森他，電気情報通信学会光エレクトロニクス研究会
2. 飯島他，電気情報通信学会光エレクトロニクス研究会
3. 内堀他，電気情報通信学会光エレクトロニクス研究会
4. 中田他，第87回マリンエンジニアリング学術講演会
5. 伊藤他，第87回マリンエンジニアリング学術講演会
6. Oi, et al., ISEHD